



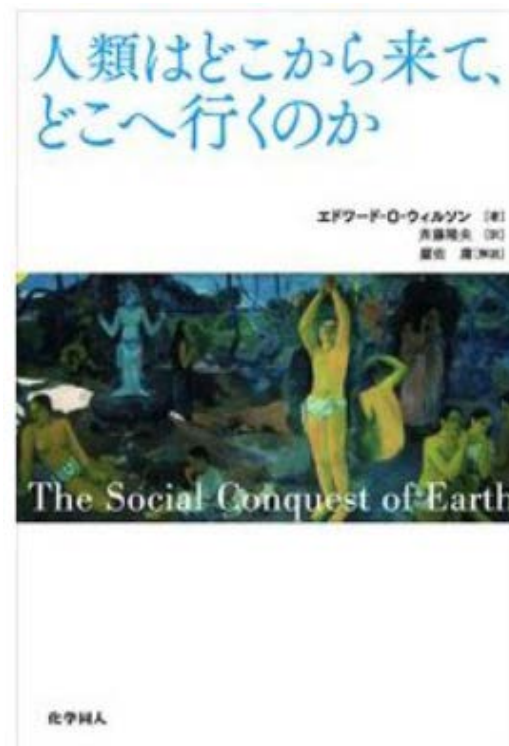
Academia

- 社会を巡る環境が大きく変化する中で、我が国の大学は、
- グローバル化の進展の中で国際的な大学間競争が激化しており、 . . .
- 新潟県内に3つの国立大学：
新潟大学（総合）、上越教育大学（専門）、長岡技術科学大学（その他）
- 立ち位置を決めて、第3期中期目標・中期計画（平成28～33年度）へ

われわれ（新潟大学）は どこから来たのか

旧官立大学（終戦時に存在したもの）

- ・帝国大学：東京・京都・東北・九州・北海道・（京城・台北）・
大阪・名古屋
- ・商科（商業）大学：一橋・神戸
- ・工科（工業）大学：（張順）・東京
- ・医科大学（旧六）：新潟・岡山・千葉・金沢・長崎・熊本
- ・文理科大学：筑波・広島
- ・その他



第10回 新潟大学 URA シンポジウム
平成27年3月24日、「ときめいと」

研究力強化と URA への期待

高橋 均
新潟大学理事（研究・社会連携）

平成26年度 採択件数・配分額は？ (新規+継続)

- ・採択件数では**18位**に位置するが、配分額(直接経費のみ、以下同)で並べ替えると**21位**。
- ・旧六で比較すると、熊本、新潟、長崎の配分額は同レベルだが、新潟は1採択あたりの配分額が少ない。

(青字:旧六、★:研究大学強化促進事業採択機関)

採択件数 順位	機 関 名	新規+継続	
		採択件数	配分額(千円)
1	東京大学 ★	3,690	16,831,488
2	京都大学 ★	2,961	11,016,351
3	大阪大学 ★	2,644	8,814,198
4	東北大学 ★	2,534	8,060,990
5	九州大学 ★	1,962	5,714,260
6	北海道大学 ★	1,724	4,650,120
7	名古屋大学 ★	1,720	5,662,760
8	筑波大学 ★	1,214	2,890,140
9	広島大学 ★	1,134	2,259,200
10	神戸大学 ★	1,081	2,286,721
11	慶應義塾大学 ★	994	2,725,139
12	早稲田大学 ★	929	2,039,850
13	東京工業大学 ★	923	3,661,300
14	千葉大学	849	1,874,687
15	岡山大学 ★	821	1,743,880
16	金沢大学	796	1,591,000
17	独立行政法人理化学研究所	755	3,022,685
18	新潟大学	740	1,282,200
19	長崎大学	654	1,229,900
20	熊本大学 ★	635	1,306,000
21	東京医科歯科大学 ★	633	1,554,000
22	日本大学	584	815,200
23	独立行政法人産業技術総合研究所	535	1,500,200
24	徳島大学	522	1,004,200
25	信州大学	509	815,456



配分額 順位	機 関 名	新規+継続	
		採択件数	配分額(千円)
1	東京大学 ★	3,690	16,831,488
2	京都大学 ★	2,961	11,016,351
3	大阪大学 ★	2,644	8,814,198
4	東北大学 ★	2,534	8,060,990
5	九州大学 ★	1,962	5,714,260
6	名古屋大学 ★	1,720	5,662,760
7	北海道大学 ★	1,724	4,650,120
8	東京工業大学 ★	923	3,661,300
9	独立行政法人理化学研究所	755	3,022,685
10	筑波大学 ★	1,214	2,890,140
11	慶應義塾大学 ★	994	2,725,139
12	神戸大学 ★	1,081	2,286,721
13	広島大学 ★	1,134	2,259,200
14	早稲田大学 ★	929	2,039,850
15	千葉大学	849	1,874,687
16	岡山大学 ★	821	1,743,880
17	金沢大学	796	1,591,000
18	東京医科歯科大学 ★	633	1,554,000
19	独立行政法人産業技術総合研究所	535	1,500,200
20	熊本大学 ★	635	1,306,000
21	新潟大学	740	1,282,200
22	長崎大学	654	1,229,900
23	徳島大学	522	1,004,200
24	奈良先端科学技術大学院大学 ★	219	906,800
25	首都大学東京	397	886,553

(26位以下省略)

(26位以下省略)

平成26年度 1採択課題あたりの配分額では？ (新規+継続)

・配分額上位100機関を対象に、1採択課題あたりの配分額で並び替えると、新潟は**65位**。

(青字:旧六、★:研究大学強化促進事業採択機関)

平均配分額順位	機関名	採択件数	配分額(千円)	平均配分額(千円)
1	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 ★	135	836,500	6,196
2	基礎生物学研究所	81	473,900	5,851
3	国立遺伝学研究所	80	466,700	5,834
4	国立天文台	62	292,200	4,713
5	東京大学 ★	3,690	16,831,488	4,561
6	奈良先端科学技術大学院大学 ★	219	906,800	4,141
7	生理学研究所	82	334,100	4,074
8	独立行政法人理化学研究所	755	3,022,685	4,004
9	東京工業大学 ★	923	3,661,300	3,967
10	独立行政法人宇宙航空研究開発機構	107	406,000	3,794
11	京都大学 ★	2,961	11,016,351	3,720
12	公益財団法人東京都医学総合研究所	143	526,900	3,685
13	大阪大学 ★	2,644	8,814,198	3,334
14	名古屋大学 ★	1,720	5,662,760	3,292
15	東北大学 ★	2,534	8,060,990	3,181
16	九州大学 ★	1,962	5,714,260	2,912
17	独立行政法人物質・材料研究機構	203	581,200	2,863
18	独立行政法人産業技術総合研究所	535	1,500,200	2,804
19	豊橋技術科学大学 ★	150	419,800	2,799
20	一橋大学	198	544,100	2,748
21	慶應義塾大学 ★	994	2,725,139	2,742
22	北海道大学 ★	1,724	4,650,120	2,697
23	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター	136	364,500	2,680
24	東京農工大学	300	799,400	2,665
25	独立行政法人海洋研究開発機構	171	437,170	2,557
26	北陸先端科学技術大学院大学	110	280,300	2,548
27	東京医科歯科大学 ★	633	1,554,000	2,455
28	筑波大学 ★	1,214	2,890,140	2,381
29	電気通信大学 ★	202	466,500	2,309
30	国立感染症研究所	130	290,400	2,234
31	首都大学東京	397	886,553	2,233
32	独立行政法人日本原子力研究開発機構	237	527,800	2,227
33	横浜国立大学	292	649,100	2,223
34	九州工業大学	187	414,500	2,217
35	千葉大学	849	1,874,687	2,208

(右表につづく)

平均配分額順位	機関名	採択件数	配分額(千円)	平均配分額(千円)
36	名古屋工業大学	207	455,900	2,202
37	早稲田大学 ★	929	2,039,850	2,196
38	独立行政法人国立がん研究センター	133	289,000	2,173
39	独立行政法人国立循環器病研究センター	157	334,900	2,133
40	岡山大学 ★	821	1,743,880	2,124
41	大阪市立大学	403	853,500	2,118
42	神戸大学 ★	1,081	2,286,721	2,115
43	京都工芸繊維大学	136	281,000	2,066
44	横浜市立大学	336	692,293	2,060
45	愛媛大学	423	871,060	2,059
46	熊本大学 ★	635	1,306,000	2,057
47	大阪府立大学	393	806,400	2,052
48	東京理科大学	318	645,400	2,030
49	金沢大学	796	1,591,000	1,999
50	広島大学 ★	1,134	2,259,200	1,992
51	独立行政法人森林総合研究所	141	277,100	1,965
52	徳島大学	522	1,004,200	1,924
53	静岡大学	343	653,500	1,905
54	長崎大学	654	1,229,900	1,881
55	同志社大学	276	518,300	1,878
56	兵庫県立大学	256	472,200	1,845
57	明治大学	280	512,100	1,829
58	浜松医科大学	226	409,500	1,812
59	鳥取大学	284	513,000	1,806
60	立命館大学	490	875,400	1,787
61	福井大学	329	583,700	1,774
62	茨城大学	219	388,000	1,772
63	立教大学	162	283,500	1,750
64	中央大学	205	358,100	1,747
65	新潟大学	740	1,282,200	1,733
66	埼玉大学	272	465,900	1,713
67	岐阜大学	378	647,100	1,712
68	関西学院大学	188	318,600	1,695
69	富山大学	378	636,400	1,684
70	順天堂大学	421	706,700	1,679

↑50位以上
平均約2,000千円以上
(このあたりが境界線?)

新潟はやはり配分額UPが必須!!

(71位以下省略) 3

ヒアリング対象機関選定のための10の指標

《旧六の30位以内ランクイン結果》

支援対象機関: 22
 国立大学 17; 私立大学 2
 大学共同利用機関法人 3

トップ > 科学技術・学術 > 研究環境・基盤整備・研究拠点形成 > 研究大学強化促進事業 > 平成25年度「研究大学強化促進事業」の支援対象機関の決定について

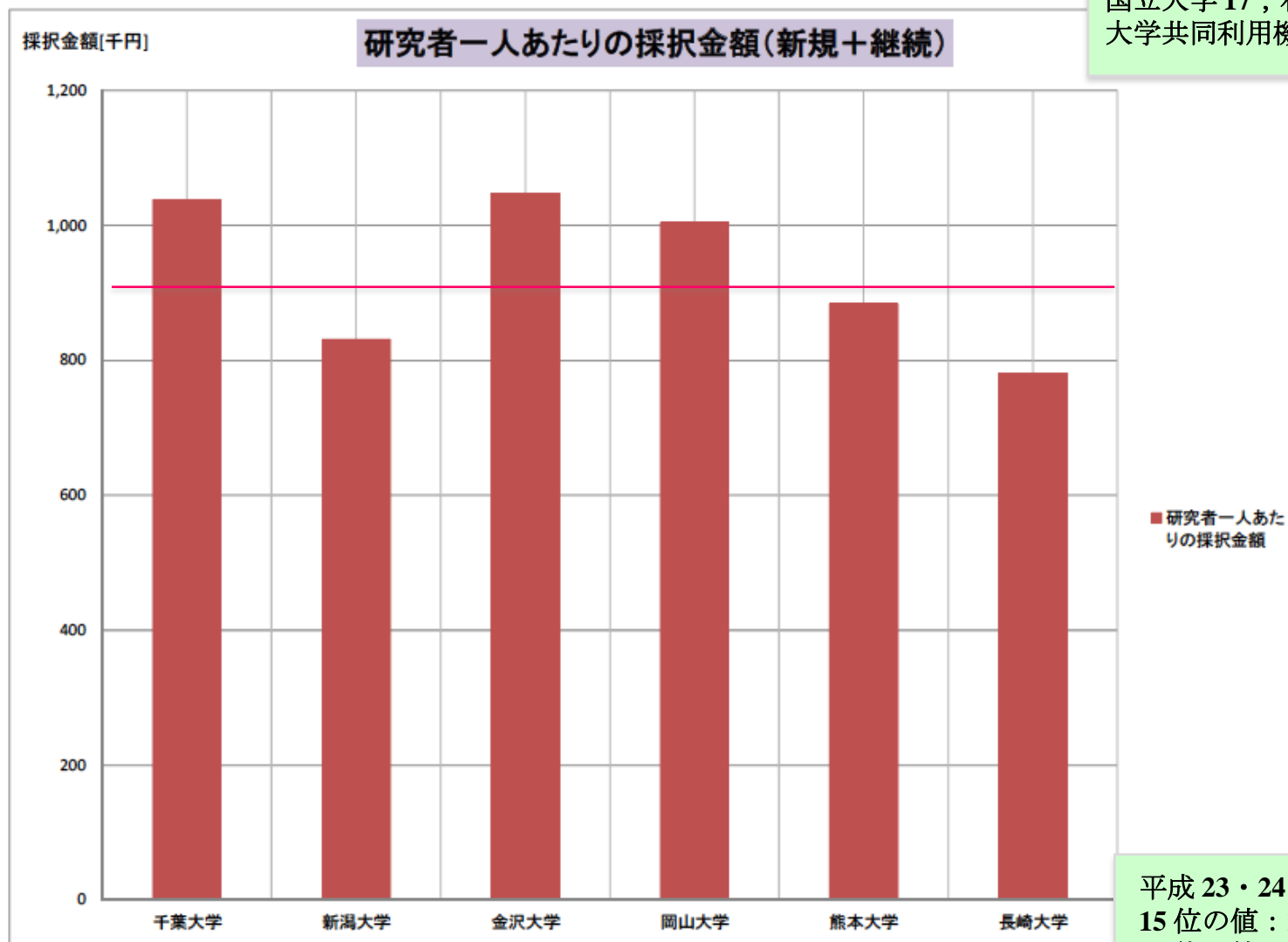
平成25年度「研究大学強化促進事業」の支援対象機関の決定について

文部科学省では、今年度から開始する研究大学強化促進事業について、支援対象機関を決定しましたのでお知らせします。
 本事業により、各大学等における研究力強化を促進し、世界水準の優れた研究活動を行う大学群の増強を目指します。

指標		新潟	岡山	千葉	金沢	長崎	熊本		
(1)	若手研究者を含む数多くの研究者により、質の高い研究がなされているか (競争的資金等の獲得状況から見た研究競争力の状況)	1-1	科研費の研究者当たりの採択数	○	○	○	○	-	○
	1-2	科研費の若手種目の新規採択率	-	○	○	-	-	-	-
	1-3	科研費の研究者当たりの配分額	-	○	○	○	-	○	-
	1-4	科研費「研究成果公開促進費(学術図書)」の採択数	-	○	○	○	-	-	-
	1-5	拠点形成事業の採択数	○	○	○	-	○	○	○
	1-6	戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)の採択数	○	○	○	-	-	○	○
(2)	国際的に質の高い論文等を生み出す研究がなされているか (国戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)の採択数際的な研究成果創出の状況)	2-1	論文数におけるTOP10%論文数の割合(Q値)	-	○	○	○	-	-
	2-2	論文数における国際共著論文の割合	○	○	-	-	-	-	-
(3)	研究成果の社会への還元がなされているか (産学連携の状況)	3-1	研究開発状況(民間企業との共同研究・受託研究受入実績額及びこれまでの伸び率)	-	○	○	-	-	-
	3-2	技術移転状況(特許権実施等収入額及びこれまでの伸び率)	-	-	-	○	-	○	○
ランクイン数		4	9	8	5	1	5		

平成 26 年度

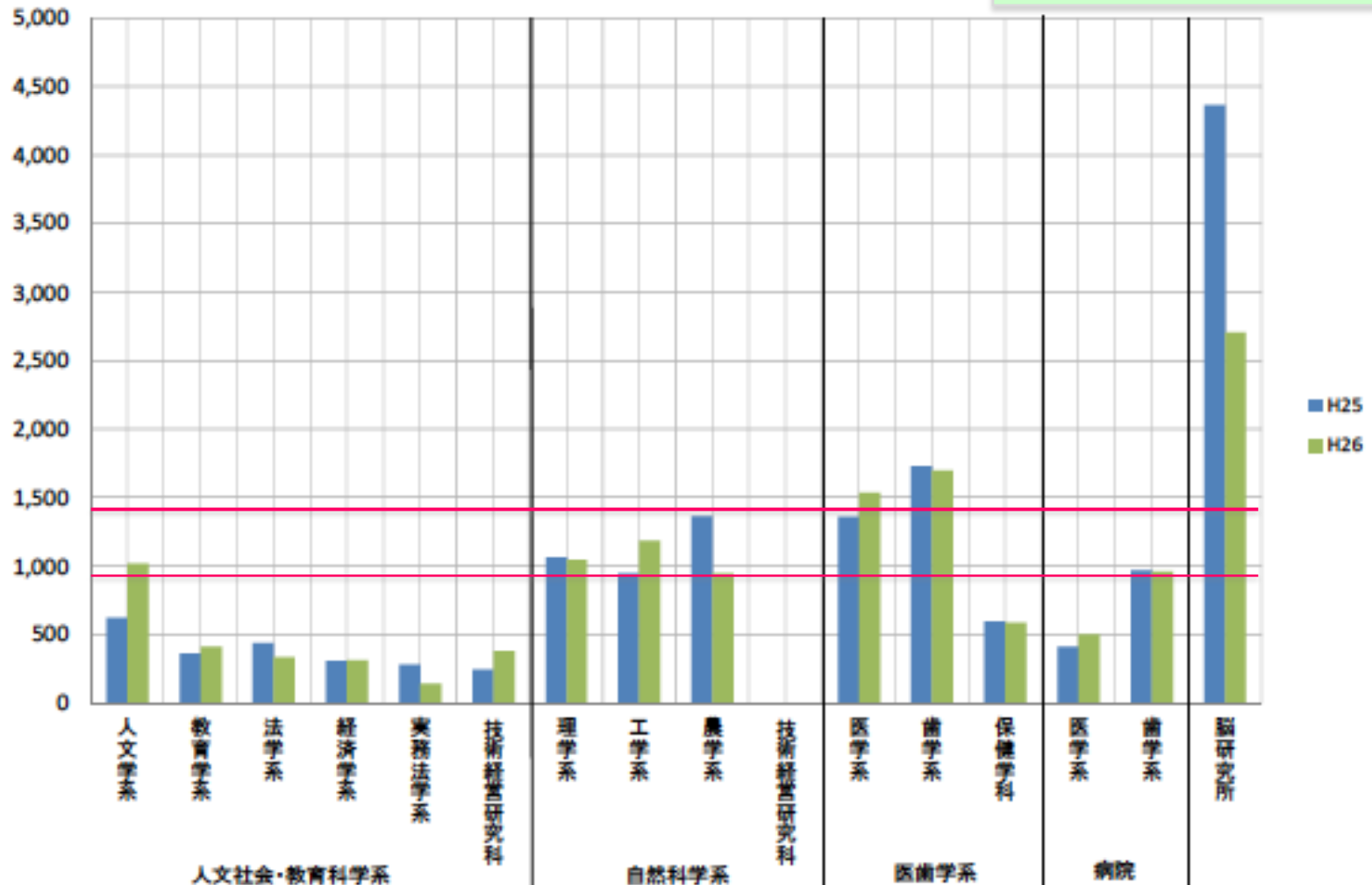
支援対象機関: 22
国立大学 17 ; 私立大学 2
大学共同利用機関法人 3



平成 23・24 年度
15 位の値: 1,368 千円
30 位の値: 947 千円

支援対象機関: 22
 国立大学 17 ; 私立大学 2
 大学共同利用機関法人 3

採択金額/大学教育職員数[千円/人] 学部等別採択金額(教員一人あたり)(新規+継続)



平成 23・24 年度
 15 位の値 : 1,368 千円
 30 位の値 : 947 千円

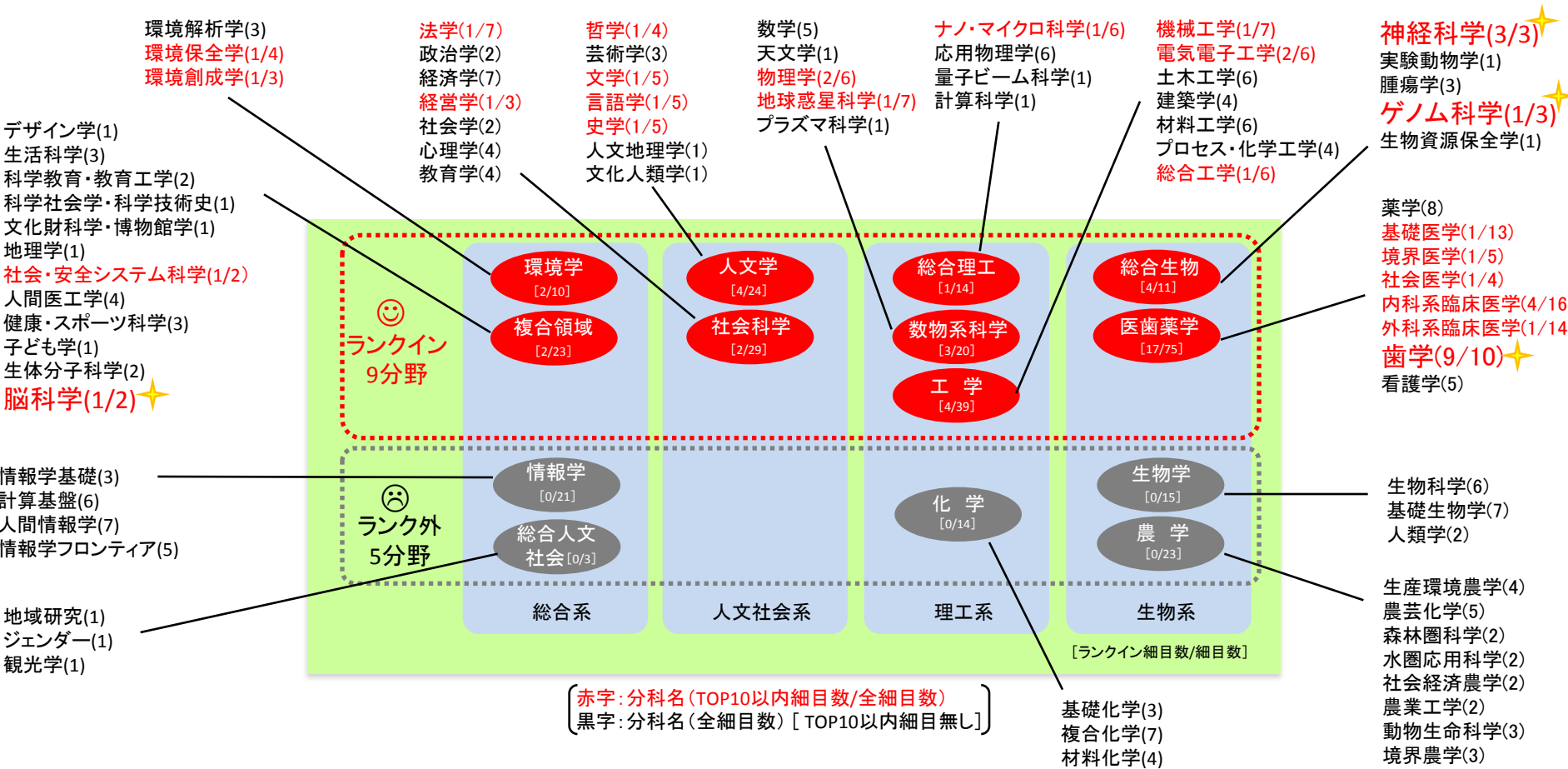
② 細目別採択件数上位10機関(過去5年の新規採択の累計数) 新潟大学の状況

ポイント1:
総合大学としての強さ

総合系、人文社会系、理工系、生物系の全14分野の内、9分野でTOP10 ランクイン細目が1つ以上ある。

ポイント2:
際立つ医歯学系特定分野

総合生物>神経科学の全3細目すべてTOP10以内! 総合生物>ゲノム科学のゲノム医科学が第3位!
医歯薬学>歯学の全10細目の内9細目がTOP10以内!
特に歯周治療系歯学は第1位! 形態系基礎歯科学は第3位!



【文部科学省 2014年10月10日発表】平成26年度科研費(補助金分・基金分)の配分について
『研究分野別配分状況』、『細目別採択件数上位10機関(過去5年の新規採択の累計数)』より

科学研究費 2014年 (過去 5 年の新規採択の累計数)

新潟大学

神経科学 (広義) (8)

脳計測学 2 位

神経生理学・神経科学一般 6 位

神経解剖学・神経病理学 5 位

神経科学・神経薬理学 9 位

神経内科学 5 位

精神神経化学 9 位

6/8 (75%)

高被引用論文数

分野別：神経科学

国内2003年～2013年10月

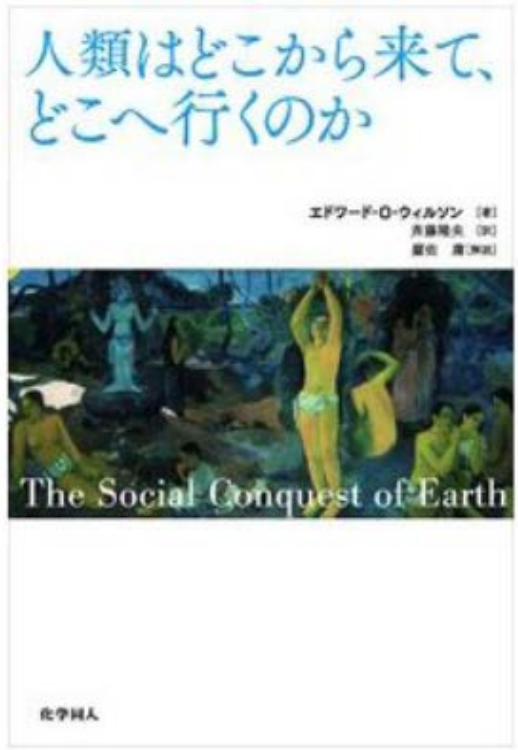
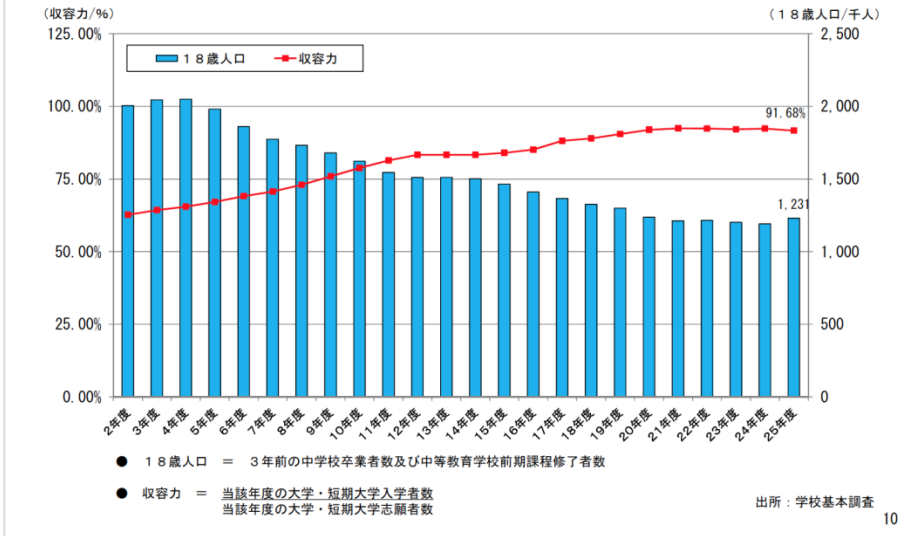
(トムソン・ロイター)

1. 東京大
 2. 京都大
 3. 東北大
 4. 九州大
 5. 新潟大
- 慶応義塾大



新潟大学

18歳人口及び高等教育機関の収容力の推移

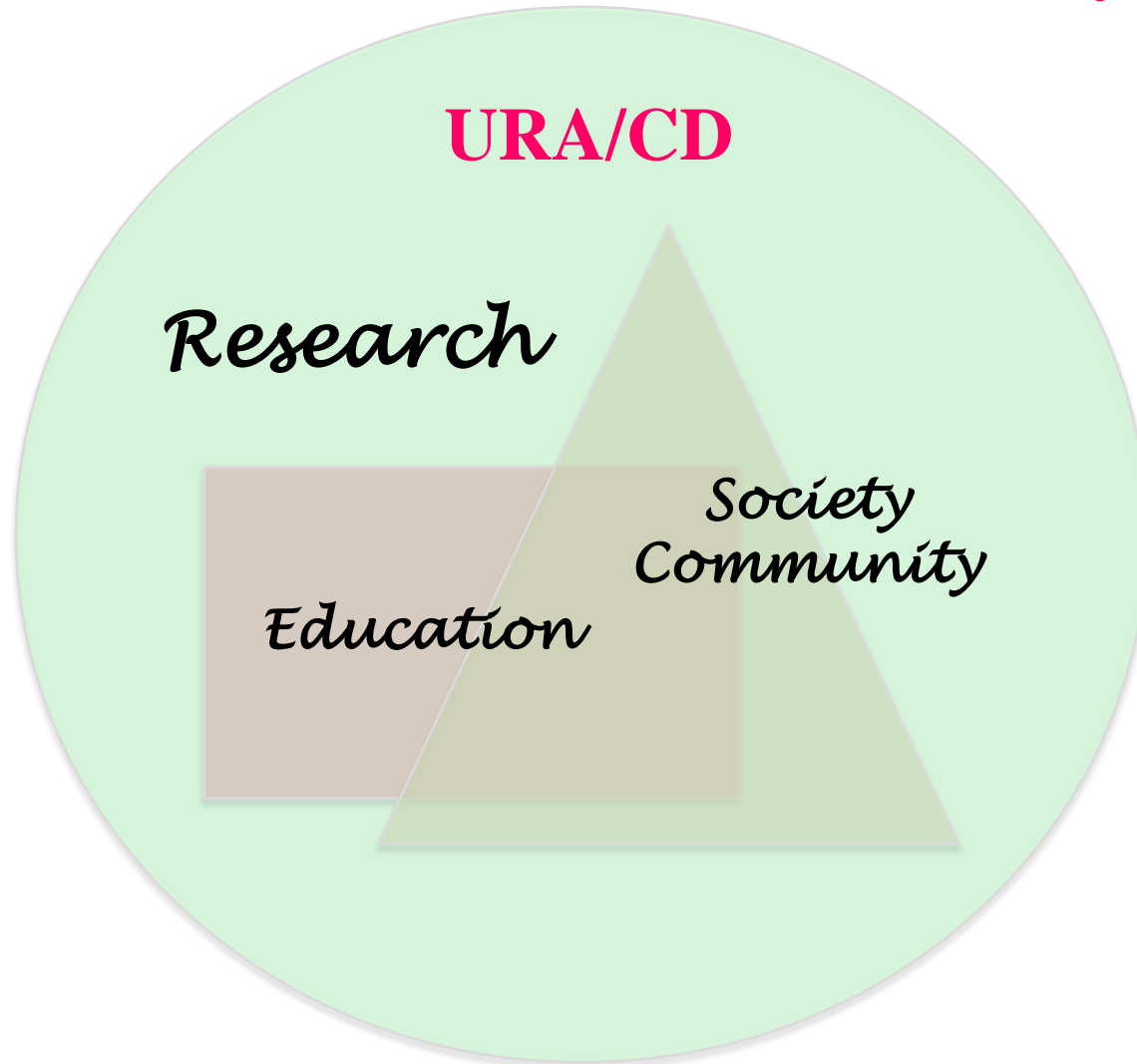


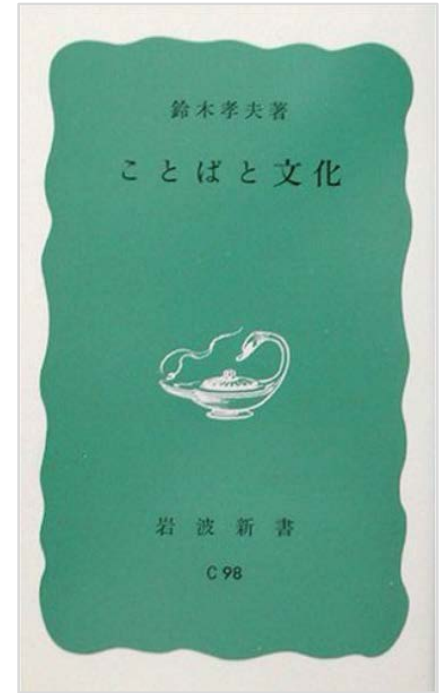
われわれ（新潟大学）は
どこへ行くのか

限りなく研究大学へ

Academia

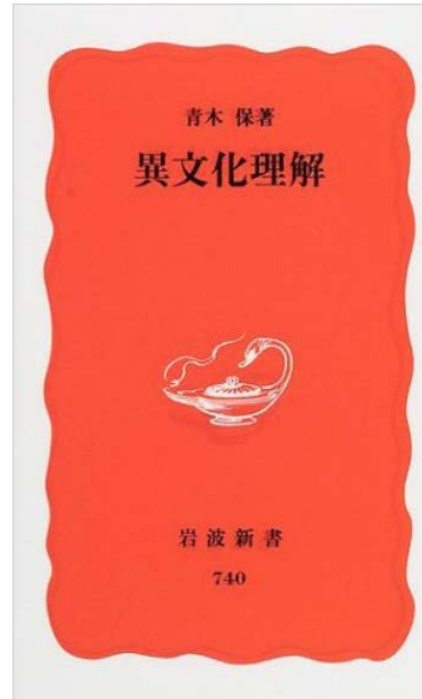
*Internationalization
and
Globalization*





鈴木孝夫 1973

日本人が外国語が不得意で、国際会議でも、学会でも実力の割におくれをとるのは、語学力そのものの点よりも、むしろ問題は、自分を言葉で充分表現する意志の弱さ、それも相手の主張や気持とは一応独立して、自分は少なくともこう考えるといいう自己主張の弱さに原因の大半があるように思えてならない。



青木 保 2001

たとえば、ドイツで育ったユダヤ系のハンナ・アーレントという有名な政治哲学者がいます。彼女はナチスに迫害され、アメリカに行って、アメリカの大学で英語で講義し、本を書くようになりました。しかし、彼女が第二次世界大戦後ドイツに初めて旅をしてインタビュに応じ、その中でドイツに惹かれると語っているのです。自分が育った母語としてのドイツ語に惹かれるという理由でした。ナチス・ドイツにあればひどいことをされ、アメリカで学者として名声を得て、ドイツに思いを残すことなど一切ないはずの、もとよりドイツに住む必要のない人間が、生まれ育った文化、とくにその言語に対して断ち切れない郷愁を覚えてしまうというので